

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 藤野 豪太
所属 (School) 経済学部 経済学科
学年 (Grade) 3年

留学先 (Name of overseas institution)
L'Institut de Touraine, Tours, France

留学期間 (study abroad period)
2022/8/27~2022/9/19

記入日 (Date) 2022/10/3

留学レポート Study Abroad Report

* How it started

偶然の連続によって、私はこの語学研修に参加することになりました。私は本来、昨年の夏期にカナダへ1ヶ月間の留学をする予定でした。本学でGC副専攻を履修したのも、2年次のカナダ留学プログラムがあったことが大きな理由の1つです。しかし、コロナ禍により留学が中止になってしまい、オンラインで自宅から英語の授業を受けるだけでした。その頃から海外留学をしたいという思いが一層強くなり、3年夏期での留学を決意しました。就職活動も早期化する中で、3年夏に留学するというのは不安な面もありました。しかし、私は留学を終えた今、この研修に参加して本当に良かったと思っています。

もし留学するか迷っていて、このレポートを読んでくれている3年生の方がいれば、是非参加してみてください。一生思い出に残る景色や出会い、衝撃的な体験、、日本では味わえない濃密な3週間を過ごすことができます。

* Homestay

3週間のホームステイでの生活を通して、フランスの文化を体感することができました。海外に行くのが初めてだった私は、日本以外の文化に合わせられるのが正直不安でした。案の定、トゥールでの最初の夕食は衝撃的でした。前菜としてメロンが出てきたのですが、家族全員がナイフとフォークを使って食べ始めた事にはびっくりしました。見よう見まねで私も挑戦しましたが予想以上に難しく、自分だけ全く綺麗に食べられなかったのを鮮明に覚えています。

しかし、明るく親切なファミリーやルームメイトのおかげで、家でも楽しく過ごすことができました。彼らとは主に夕食の時間に交流をしました。フランスでは、家族全員で夕食を食べるのが基本だからです。毎日1時間程度、会話をしながら食事を楽しみます。その時間に今日あったことや週末の予定など、色々な話題について話しました。ファミリーは自分の話を最後まで聞いてくれるので、もし言葉に詰まったとしても、自分の意見を伝えやすい雰囲気を作ってくれました。

また私のルームメイトは同じ学校に通うスペイン人でした。私と同じくサッカーが好きだったので、夕食後には部屋で一緒にサッカー観戦もしました。ファミリーやルームメイトには感謝の気持ちでいっぱいです。



* Class

平日の9時から12時20分までは授業があります。渡航約1ヶ月前にオンラインテストを受験し、その結果を基にクラス分けされます。私のクラスでは主にペアワークをしたり、自分の意見を発表したりと、スピーキングが求められる授業が多かったです。クラスメイトの国籍や年齢も様々なので、世界中に友達が欲しい人にはぴったりです。彼らの多くは、明確な目標を持って語学学校に通っている印象です。「将来フランスの大学に入学したい!」「就職するためにフランス語の試験に合格したい!」などなど、夢や目標を熱く語ってく

れる彼らとの交流は、私にとって非常に良い刺激となりました。

クラスの雰囲気を一言でいうと「自由」です。例えば、時間が「自由」です。授業は 9 時から始まる予定ですが、この 3 週間で授業が時間通りに始まることは滅多にありませんでした。先生が数分遅れて教室に到着するので、時間通りに教室に行っても鍵が閉まっています。しかし、そのおかげで授業前にクラスメイトと交流できたので、私にとっては良かったです。



また、授業のペースも「自由」です。積極的なクラスメイトが多く、授業中に気になることは何でも先生に質問していました。そのため、授業が良い意味で「脱線」することがよくありました。分からないことは先生と一緒に考えたり、インターネットで調べたり、生徒間で議論したりといった時間が毎日ありました。たまに議論が白熱すると、先生が話すフランス語のスピードも一段と早くなり、会話についていけなくなります。そんな時は隣の子と雑談をして時間を過ごします。このように自由な授業の進め方は日本で経験したことが無く、毎日新しい発見があって面白かったです。

自由な先生や優しいクラスメイトのおかげで、なんとか授業を乗り切ることができ、最後はクラス全員でゲームを楽しむことができました。

* Tours

フランスと日本は「別世界」だと感じました。街並みや景色が違うのはもちろん、ほとんどの人がマスクを着けていませんでした。毎日多くの人がテラスで食事をしながら、会話を楽しんでいる光景が印象的です。その景色はパンデミックとは程遠く、以前の日常が戻っているようでした。

3 週間のツールでの生活は非常に充実していました。私は特に、ツールの食事と人が大好きです。食事に関しては、美味しいパン屋さんが街中にあります。毎日違うパン屋さんでクロワッサンを食べることが、私の楽しみの 1 つでした。フランスのパンは日本よりも別次元に美味しいです。ファミリーによると、フランスは日本と違って乾燥した気候のおかげで、サクサクのパンをいつでも食べることができるのだそうです。皆さんも是非「推しパン屋」を見つけてみて下さい。



また、ツールの人は親切で温かいです。マルシェや店では、店員さんや並んでいる人が気軽に話しかけてくれます。今日は何を食べるの? とか、どこから来たの? とか、他愛も無い話をする機会が多かったです。皆フランス語を学ぶためにツールに来てくれていることを嬉しく思ってくれ、時にはちょっとしたサービスもしてくれます。偶然居合わせた人と会話が始まるのは、私の好きな文化の一つです。

* Paris

週末には何度かパリへ行きました。TGV という高速鉄道を使えば、ツールからたったの 1 時間程でパリへ行くことができます。パリはツールとは違い、「大都会」です。常に人混みは当たり前、電車や地下鉄ではスリの危険もあり、その点は注意が必要です。正直に言うと、パリの人はあまり温かくないです。

しかし、エッフェル塔や凱旋門、ルーブル美術館など、一生忘れないであろう絶景を味わうことができます。写真では伝えることができない雰囲気や迫力を、みなさんにもぜひ体感してほしいです。

* Message

今回の語学研修は、多くの人のおかげがあったおかげで充実した 3 週間になったと心から思います。一緒に研修に参加したメンバー。研修前に日本に来てくれた留学生。ツールを回るミッションを作ってくれた先生方。授業で分からないときに助けてくれたクラスメイト。家で楽しく過ごしてくれたホストファミリーやルームメイト。このレポートには収まりきれない程の人達の支えを感じました。本当にありがとうございます。

私は留学することを非常に迷いましたが、この決断を全く後悔していません。むしろ今までの選択の中で 1 番良かったと確信しています。3 週間という短い期間でしたが、一生忘れられない思い出となりました。今読んでくれている方の「挑戦」がより良いものとなることを心から願っています。

